

## 西原村社会福祉協議会・研修会

日時：平成 29 年 11 月 14 日（火） 17：00～18：00

場所：西原村社会福祉協議会

1. くまもと悠心病院の紹介

くまもと悠心病院 地域連携室室長 杉本 篤史

2. 認知症の精神・行動障害について

くまもと悠心病院 院長 宮内 大介

3. 質疑応答

4. アンケート記入

平成 29 年度 第 1 回阿蘇地域 BPSD センター研修会（西原村） 会議録

日時：平成 29 年 11 月 14 日（火） 17 時 00 分～18 時 30 分

場所：西原村社会福祉協議会

出席者：西原村社会福祉協議会職員 23 名

泉田氏、藤森氏、宮本氏、中村氏、中野氏、大谷氏、糸田氏、坂田氏、中西氏、  
吉田氏、江藤氏、古田氏、中村氏、南利氏、緒方氏、岩田氏、村上氏、後藤氏、  
西田氏、西川氏、小林氏、津留氏、津志田氏

くまもと悠心病院 3 名

宮内院長、杉本、大塚

BPSD コールセンター 1 名

松岡氏

合計 27 名

議事：

1. 開会挨拶

2. BPSD センターの紹介、くまもと悠心病院の紹介

くまもと悠心病院 地域連携室室長 杉本篤史

3. 講演『認知症の精神・行動障害について』

くまもと悠心病院 院長 宮内大介

※資料に基づき、認知症の症状について説明、三大認知症のそれぞれの特徴、治療（薬物療法、薬物以外の治療法、適切なケア及び管理の大切さ、BPSD（主に徘徊）の対応等について講演を行った。

4. 質疑応答、意見交換

5. アンケート

●ご質問、ご意見等

・認知症の割合として、以前より脳血管性認知症が減り、レビー小体型認知症が増えた印象がある。

→以前よりレビー小体型認知症を見逃さなくなった。また、脳血管障害のあるアルツハイマー型認知症が増えている。

- ・若年性認知症の方で、奇声などがあり一般の施設の受け入れが難しい方がいる。現在病院に通院はしていないが、そのような方でも入院は可能か。  
→事前に相談していただければ、初診入院も可能である。
- ・アルツハイマー型認知症の方で、昼夜問わず眠気が強くデイサービスでも傾眠傾向の方がいる。認知症によるものなのか、気になっている。  
→薬を飲んでいれば副作用の可能性や、血糖値など内科的な問題による可能性もある。  
認知症により、意欲が低下しているのかもしれない。
- ・体調を崩してから自信をなくし、外出しようとしないう方がいる。老人性うつかと思うが、本人は病院に行こうとしない。連れて行くきっかけがないが、どうしたら良いか。  
→訪問などで、声かけをしながら、本人が行くと言うタイミングを待つしかない。
- ・精神科受診をしようとしても、1ヶ月待ちと言われたりする。家族が早めに受診させたいと希望した場合などはどうしたら良いのか。  
→BPSD など激しい症状がある場合はすぐに対応するようにしている。入院対応もしている。ただし、そのような方に早く対応するためにも、ちょっとしたもの忘れ等の場合は、待ついただくこともある。緊急度によって変えさせていただいている。  
※BPSD コールセンター・松岡氏より、改めて、BPSD センターの説明を行った。

●アンケートより（今後研修会で聞きたい内容など）

- ・認知症、精神疾患の方に対する対応の仕方
- ・BPSD の各症状に対する、適切な対応の仕方
- ・周辺症状が出た場合の家族の対応方法、施設での対応方法
- ・介護拒否等の対応
- ・認知症の早期発見、早期対応について
- ・病院との連携について
- ・各病院の連携室との顔の見える関係づくり
- ・精神科病院の入院生活について

